

基本計画（施策評価シート）

基本構想	04	【産業・交流】
政 策	主	01 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
	副	—
施 策	01	農家の担い手を育て儲かる農業をめざします
所 管	150500	経済部・農林課
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—

◆現状と課題

農業は小諸市の基幹産業であるが、ほ場の傾斜がきつく、面積も小規模な中山間地という立地条件に恵まれていない状況もあり、農家数の減少、農業従事者の高齢化、後継者・担い手不足、遊休荒廃地の増大などが問題となっている。担い手を育てるためには、農業大学校との連携強化が効果的であり、今後の連携強化の取り組みが必要である。また、生産物を「どう売るか」ということについて、消費者の目線に立った農業経営を行うとともに、商店街との連携等にも取り組んでいく必要がある。

◆方 針

目 的	優先順位
農業が儲かる産業となり夢が持てるようにならないと、後継者や新規参入者等の担い手は育たない。担い手の農業研修については農業大学校と十分な連携を図るとともに、農産物の付加価値を高めるブランド化や6次産業化などを推進し、生産するだけでなく「どう売るか」という商業的な視点も十分に取り入れながら儲かる農業をめざす。また、既に生産物の販路が確立された地区においては、農業の生産性をさらに向上させ、儲かり続ける農業をめざす。	—

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画
①農地・農道・水路等の基盤整備が進み、農地が保全され、効率的な農業ができている状態。 ②農地の集積が進み、耕作放棄地が増えない状態。 ③農産物等における「小諸の農」のブランドが確立された状態。 ④6次産業化に取り組む農業者が大勢いて、ビジネスとして成り立っている状態。 ⑤森林が整備され、野生鳥獣による農業被害が増えていかない状態。
設定理由
①基盤整備がされ、生産性が向上した農業でなければ、後継者や新規参入者等の担い手が増えないから。 ②耕作放棄地とならずに農地が集積され規模拡大につながれば、生産性が向上するから。 ③ブランドが確立されれば、農作物の収益率が上がるから。 ④ビジネスとして成り立てば、担い手が増えるから。 ⑤農業被害が増加すると営農意欲が減退してしまうから。

◆実績

平成29年度 実績						評価点	—
①補助事業の農地耕作条件改善事業で農作業道を整備し、市単独事業では農道・水路の維持管理を行った。 ②中間管理事業による集積は進んだが、耕作放棄地の解消は補助要件等の変更により0.85haに止まった。 ③アグリシフトプロジェクトの推進により現在構築中。 ④ワイン関係でビジネスになり得る人が増えてきている。6次化ネットワークの会員数は現状維持に止まった。 ⑤平成27年度以降被害額は減少し、最低水準を保っている状況。							

◆成果指標（アウトカム）

・目標値の計画と達成状況

指標名	農地所有適格化法人・農業生産組織数						単位	社
設定理由	農産物価格の競争力を高めるために必要となる、生産コスト削減のためには、法人化等による経営規模拡大や省力化が必要であるから。							
算式							単位	社
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	14	計画	16	18	20	22		
		実績	16	18				
指標名	耕作放棄地の解消面積（耕作放棄地面積285ha：平成27年度調査）						単位	ha
設定理由	営農意欲のある人により、耕作放棄地が農地として再生されれば、農地の集積につながり、生産性も向上するから。							
算式							単位	ha
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	25	計画	28	31	34	37		
		実績	30	31				
指標名	小諸市6次化ネットワーク会員数						単位	人
設定理由	6次化ネットワーク会員を増やすことで、新たなビジネス展開の可能性が増え、6次産業化の推進につながるから。							
算式							単位	人
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	33	計画	36	39	42	45		
		実績	33	33				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①農業施設の適正な維持管理を行い農地の保全を図る。②人・農地プランの見直しを進め、中間管理事業の活用による利用集積の推進と耕作放棄地解消を目指す。③県の地域づくり支援金を活用し、小諸アグリシフトプロジェクトを推進する。④6次産業化の推進に向けた支援策を継続するとともに、特にワイン振興につながるイベント等を開催していく。⑤森林整備促進事業を活用した森林整備と、野生鳥獣対策として実施している野生鳥獣商品化施設の運営の充実を図る。
--

◆個別計画

農業振興地域整備計画／農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想／森林整備計画
--

◆特記事項

--

事務事業名	364 林業振興事業	施策内順位	19/26
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	67 治山林道施設維持管理事業	施策内順位	18/26
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	365 松くい虫対策事業	施策内順位	16/26
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	256 野生鳥獣保護・管理事業	施策内順位	17/26
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	257 森林（もり）の里親事業	施策内順位	20/26
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	127 森林整備促進事業	施策内順位	21/26
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	6576 施設運営事業	施策内順位	3/26
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	6602 予備費	施策内順位	—
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	7701 高峰財産区事業	施策内順位	—
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	7702 御牧ヶ原財産区事業	施策内順位	—
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	7703 古牧財産区事業	施策内順位	—
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	7704 滋野財産区事業	施策内順位	—
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	7705 乗瀬地区市有地管理事業	施策内順位	—
所 管	150510 経済部・農林課・林務係		
事務事業名	299 農地費運営費	施策内順位	—
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係		
事務事業名	14 県営農業農村整備事業負担金	施策内順位	22/26
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係		

事務事業名	69 市単独土地改良事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	4/26
事務事業名	438 市単独維持補修事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	5/26
事務事業名	42 土地改良区等補助金交付事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	23/26
事務事業名	217 農地保全協働事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	24/26
事務事業名	5774 多面的機能支払交付金事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	12/26
事務事業名	5936 農業基盤整備促進事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	—
事務事業名	6781 農地耕作条件改善事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	—
事務事業名	8069 インフラ長寿命化計画策定事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	—
事務事業名	219 農業用施設単独災害復旧事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	26/26
事務事業名	8324 平成28年発生御影用水災害復旧事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	—
事務事業名	97 災害復旧事業	施策内順位
所 管	150530 経済部・農林課・農地整備係	25/26
事務事業名	98 農業総務費運営費	施策内順位
所 管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	—
事務事業名	273 農業総務費給与費	施策内順位
所 管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	—
事務事業名	7 農業振興事業	施策内順位
所 管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	14/26
事務事業名	59 畜産振興事業	施策内順位
所 管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	15/26

事務事業名	8 農村資源活用交流施設運営事業	施策内順位
		2/26
所管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	
事務事業名	345 中山間地域等直接支払事業	施策内順位
		11/26
所管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	
事務事業名	9 農業人材育成事業	施策内順位
		10/26
所管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	
事務事業名	3704 六次産業化推進事業	施策内順位
		9/26
所管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	
事務事業名	6725 農産物ブランド化事業	施策内順位
		1/26
所管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	
事務事業名	328 水田農業経営確立推進指導事業	施策内順位
		13/26
所管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係	
事務事業名	3570 農業委員会運営費	施策内順位
		8/26
所管	150590 経済部・農林課・農地調整係	
事務事業名	3588 耕作放棄地対策事業	施策内順位
		6/26
所管	150590 経済部・農林課・農地調整係	
事務事業名	3590 機構集積支援事業	施策内順位
		7/26
所管	150590 経済部・農林課・農地調整係	

基本計画（施策評価シート）

基本構想	04	【産業・交流】
政 策	主	01 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
	副	—
施 策	02	既存企業や新規起業者への支援と、企業誘致を推進し、働く場を創出します
所 管	150100	経済部・商工観光課
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—

◆現状と課題

雇用を創出する企業の誘致を図りたいが、市や土地開発公社で提供できる用地がないため積極的な誘致をすることができない状況となっている。また、雇用については佐久地域の求人倍率は1倍を超えているが、企業と求職者とのミスマッチが起き、人材不足が深刻化している現状にある。働く場を確保するためには、企業立地と合わせ市外移転や廃業等による減少を防ぐための既存企業への支援の充実、また起業者となる人材の育成や経営を維持していくための知識を高めていく必要がある。

◆方 針

目 的	優先順位
商工会議所など関係機関と連携しながら、既存企業や起業者への、経営や人材育成に対する支援、また企業立地の推進を図り雇用の場を確保するとともに、職業安定協会と連携した就職相談会、企業説明会の開催などにより企業と求職者とのマッチングを図り、人材を確保する。また、産学官や地域との連携により、地域に集積する技術や資源を活用した技術高度化や新たな産業の創出を支援することで、地域産業の活性化を図るとともに、工場等の用地確保に向けた企業立地計画を策定し、企業立地の推進を図る。	—

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画
①働ける職場がある状態。 ②起業する際に必要な支援が受けやすい状態。 ③安定した収入があり、安心して生活ができる状態。
設定理由
①働きたいと思った時に働ける職場があれば、安心して生活できるから。 ②必要な起業支援が受けられることで起業者が増え、雇用の場につながるから。 ③働く場があれば安定した収入が得られ、安心して生活することができるから。

◆実績

平成29年度 実績						評価点	—
<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地の推進により、目標値を上回る新設1件、増設3件の工場等を立地した。 ・企業立地により雇用者数が8名増加した。 ・商工会議所と連携して起業の支援を行い、13件の起業につなげた。 							

◆成果指標（アウトカム）

・目標値の計画と達成状況

指標名	企業立地数						単位	件
設定理由	企業数が増えることで働く場が確保できるから。							
算式							単位	件
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	2	計画	3	3	3	3	3	
		実績	5	4				
指標名	企業立地による雇用者数						単位	人
設定理由	雇用が増えることで、就職に結びつき、安定した生活がおくれるから。							
算式							単位	人
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	15	計画	16	16	16	16	16	
		実績	12	8				
指標名	市内での起業件数（小諸商工会議所チャレンジ起業相談室を利用した起業件数）						単位	件
設定理由	起業者が増えれば地域経済の活性化や働く場の創出につながるから。							
算式							単位	件
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	20	計画	20	20	20	20	20	
		実績	22	13				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、積極的な企業誘致や既存企業への支援を進め、雇用の場の確保・拡大を図る。 ・新たな産業団地の確保に向けた具体的な検討を行い、企業立地計画を策定する。 ・商工会議所と連携し「創業塾」など創業希望者に対する支援策を充実させる。 ・空き店舗活用や店舗誘致事業を商店街と協力して進め、有効な支援を行う。 							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

--	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

事務事業名	63 労働振興事業	施策内順位
		3/4
所管	150110 経済部・商工観光課・商工振興係	
事務事業名	183 商工総務費給与費	施策内順位
		—
所管	150110 経済部・商工観光課・商工振興係	
事務事業名	293 商工業総合振興事業	施策内順位
		2/4
所管	150110 経済部・商工観光課・商工振興係	
事務事業名	250 制度融資事業	施策内順位
		4/4
所管	150110 経済部・商工観光課・商工振興係	
事務事業名	6529 企業立地推進事業	施策内順位
		1/4
所管	150190 経済部・商工観光課・企業立地定住促進係	

基本計画（施策評価シート）

基本構想	04	【産業・交流】
政 策	主	01 地域の宝、地域の資源を有効活用し、活気ある豊かなまち
	副	—
施 策	03	協働して戦略的に小諸の魅力を発信し、交流人口・移住人口の増加を図ります
所 管	150100	経済部・商工観光課
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—
関 連	—	—

◆現状と課題

小諸の持つ観光資源を活用し、また、その魅力を十分に活用することができていないため、観光客数も減少傾向となっているのが現状である。交流人口・移住人口の増加を図るためには、戦略的な情報発信や協働による観光地域づくりを進めるための仕組みづくり、また、その舵取り役となる組織づくり、人材育成が課題となっている。

◆方 針

目 的	優先順位
小諸市観光地域づくりビジョンを基本に、こもろ観光局を中心とした協働によるシティプロモーションの推進によって、観光のブランド力と認知度を上げ、地域の活性化と移住・定住・交流人口の増加を図る。また、市内の観光資源をつなぎ、観光客が楽しく回遊できる動線づくりを進めるとともに、既にある資源を有効活用する仕組みを工夫し、魅力ある地域づくりにつなげていく。	—

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市民自らが小諸市の魅力を再認識し、誇りをもってその価値を発信するとともに、同じ思いをもって魅力ある地域づくりに取り組んでいる状態。 ②移住者・定住者が増え、新築住宅着工数が増えている状態。 ③観光資源を案内する分かりやすい看板や動線が整備されている状態。
設定理由
①広く地域住民が誇りをもって小諸の魅力を伝えることにより、観光客や移住者が増え、また、交流をすることで地域の活力が高まるから。 ②住宅着工数が増えることは、そこで暮らしたくなる魅力があることになるから。 ③案内が充実していることは、地域の魅力をより伝えることができる状態といえるから。

◆実績

平成29年度 実績						評価点	—
<ul style="list-style-type: none"> ・「こもろ観光局」の本格営業開始に伴い、観光局と連携を図るとともに、自立に向けた支援を行うなど、小諸市の観光地域づくりの推進に向けた新たな一歩を踏み出すことができた。 ・新築住宅着工数が伸びないため、住宅取得助成制度の見直しを行うとともに、移住体験ツアーや移住相談窓口、空家バンクの充実などにより、制度を利用した移住者が増加した。 							

◆成果指標（アウトカム）

・目標値の計画と達成状況

指標名	新築住宅着工数						単位	件
設定理由	新築住宅が増えることは、定住人口の増加、もしくは市外への流出を抑えていることになるから。							
算式							単位	件
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	130	計画	200	200	200	200		
		実績	133	129				
指標名	(仮想) 交流人口						単位	人
設定理由	交流人口が増えていることは、地域の魅力が高まっていて移住・定住人口の増につながる状態であるから。							
算式							単位	人
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	5,020,000	計画	5,040,000	5,060,000	5,080,000	5,090,000		
		実績	5,074,504	5,284,823				
指標名	地域ブランド調査の魅力度全国順位						単位	位
設定理由	客観的に小諸市の魅力を測ることのできる指標であるから。							
算式							単位	位
目標値 (公表)	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	201	計画	200以内	200以内	200以内	200以内		
		実績	205	190				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・こもろ観光局の自立促進を図るとともに、連携して戦略的な観光宣伝・誘客事業を展開する。 ・地方創生推進交付金を活用し、懐古園（動物園）再整備や脇本陣整備を進め、小諸の魅力アップを図る。 ・谷地原地区の宅地開発支援事業を着実に進めるとともに、次の開発支援場所の選定・事業化を進め、確実な宅地開発に結び付ける。 							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

観光地域づくりビジョン

◆特記事項

--

事務事業名	424 布引温泉管理事業	施策内順位	9/9
所管	150110 経済部・商工観光課・商工振興係		
事務事業名	8488 まちなか活性化施設運営事業	施策内順位	7/9
所管	150110 経済部・商工観光課・商工振興係		
事務事業名	425 市民ガーデン運営事業	施策内順位	—
所管	150110 経済部・商工観光課・商工振興係		
事務事業名	220 観光宣伝事業	施策内順位	4/9
所管	150150 経済部・商工観光課・観光交流係		
事務事業名	329 観光振興事業	施策内順位	3/9
所管	150150 経済部・商工観光課・観光交流係		
事務事業名	3709 観光施設運営事業	施策内順位	8/9
所管	150150 経済部・商工観光課・観光交流係		
事務事業名	99 小諸公園事業特別会計繰出金	施策内順位	—
所管	150150 経済部・商工観光課・観光交流係		
事務事業名	8143 観光地域づくり事業	施策内順位	1/9
所管	150150 経済部・商工観光課・観光交流係		
事務事業名	7716 懐古園運営事業	施策内順位	6/9
所管	150170 経済部・商工観光課・懐古園事務所		
事務事業名	4960 移住・定住促進事業	施策内順位	2/9
所管	150190 経済部・商工観光課・企業立地定住促進係		
事務事業名	244 都市農村交流推進事業	施策内順位	5/9
所管	150570 経済部・農林課・農業ブランド振興係		
事務事業名	320 まちづくり推進関連事業	施策内順位	—
所管	200510 建設部・都市計画課・都市計画係		